

大統領府、エネルギーへのアクセスのない約13億人に
オフグリッド・クリーンエネルギー・システムを提供する行動計画を発表（10月22日）

大統領府は10月22日、エネルギーへのアクセスのない約13億人の人々に対し、オフグリッド・クリーンエネルギー・システムと省エネ電化製品を提供するための新たな行動計画を発表した。本計画を実現させるために、米国、ベナン共和国、バングラディシュ、及びケニアの4カ国が実施する具体的対策は以下の通り。

- ・エネルギー省（Department of Energy）が、超省エネで高品質のオフグリッド・ファン及びテレビの特定と促進に重点を置いたコンペ「世界照明・エネルギー・アクセス・パートナーシップ（Global Lighting and Energy Access Partnership : Global LEAP）賞」を実施。
- ・米国国際開発庁（U.S. Agency for International Development : USAID）が、アフリカ・サハラ砂漠以南地域全体へのオフグリッド・エネルギー投資拡大のために、パワー・アフリカ（Power Africa）プログラムを通して新たに7,500万ドルの融資を保証。
- ・海外民間投資公社（Overseas Private Investment Corporation : OPIC）が、ケニア及びナイジェリアの9万世帯において、太陽エネルギー導入を促進するために2,000万ドル超を融資。
- ・ミレニアム・チャレンジ公社（Millennium Challenge Corporation）が、ベナン共和国におけるオフグリッド電化のために、4,600万ドルを提供。
- ・ベナン共和国、バングラディシュ、及びケニア政府が、クリーンエネルギー発電によるオフグリッド省エネ製品へのアクセス強化のための対策を講じ、オフグリッド電化製品の品質を保証するための基準を策定。

この他、民間企業・団体19組織が、低炭素でサステナブルな将来に向けて大きく前進するために独自の誓約を発表した。なお、今回発表された誓約により、①2020年までに5億人以上にオフグリッド・クリーンエネルギー製品およびサービスへのアクセスを提供すると共に、②2020年までに配備される製品の耐用年数期間を通して、二酸化炭素排出量を3億5,000万メートルトン以上削減することになるとのことである。

The White House, FACT SHEET: Obama Administration Joins with Public and Private Sector to Increase Access to Off-Grid Clean Energy and the Deployment of Innovative Technologies Globally

<https://www.whitehouse.gov/the-press-office/2015/10/22/fact-sheet-obama-administration-joins-public-and-private-sector-increase>